

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 27 年 4 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 27 年 1 月～3 月期の実績および平成 27 年 4 月～6 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業＋食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業＋諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業＋食品業部会	30 社	19 社	63.3%
水産業部会	30 社	19 社	63.3%
機械工業部会	30 社	13 社	43.3%
建設業部会	30 社	17 社	56.6%
観光・サービス業＋諸業部会	30 社	20 社	66.6%
合 計	150 社	88 件	58.6%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況はやや悪化。来期は変化はなく横ばいの見込み－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成27年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲18.2**と前回調査時の▲15.2より**3ポイントの悪化**となりました。

全業種のDI値を見てみますと、前年同期のDI値は4.5と好調であった建設業とそれに牽引される形で好調であった機械工業がプラス域へと引き込む状況となっていました。今期はその2業種が悪化となり、前年同期と比較すると22.7ポイントの悪化となりました。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業 [前年DI値▲11.1→今期▲21.1]、水産業 [前年DI値▲31.6→今期▲21.1]、機械工業 [前年DI値33.3→今期▲38.5]、建設業 [前年DI値35.5→今期▲11.8]、観光・サービス・諸業 [前年DI値0.0→今期▲5.0]となりました。

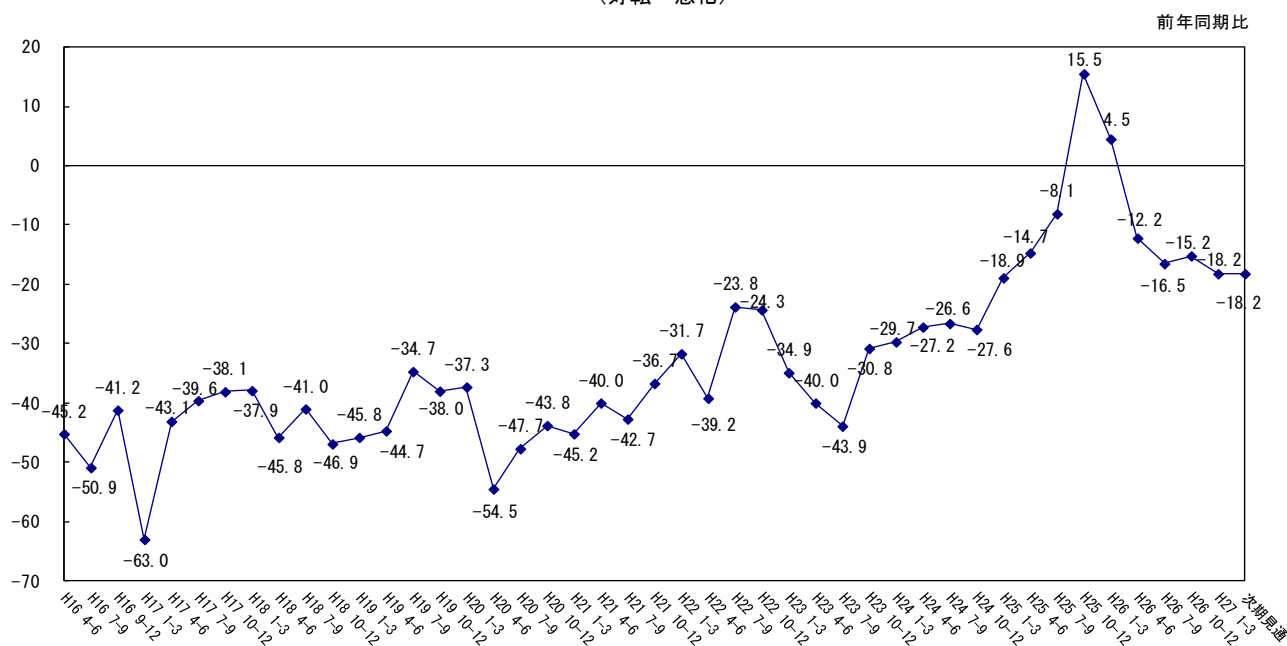
今回の調査では、全業種悪化の業況となっています。4月20日に新施設での診療を開始した広域紋別病院の建設終了に伴い、建築、設備関係者も一段落したことに加え、市外からの働き手の方々の宿泊や食事など、商業・食品業、観光サービス業においても売上が減少するという声が寄せられております。観光サービス・諸業については、他の業種よりも悪化幅は小さく、異動の季節に伴い動きが活発になることから、昨年には及ばないものの顕著に推移しています。

次期(平成27年4月～6月)については、全体では今期と比べて**業況判断DIは横ばい(次期見通し▲18.2)**の予測となっており、海明けと共に本格稼働し、好転見込みとなっている水産業と機械工業以外、全て悪化の予想となっていますが、水産業は主力であるホタテ貝が冬の低気圧により多くの海域で死滅しているとの報道がなされており、その影響が懸念されます。

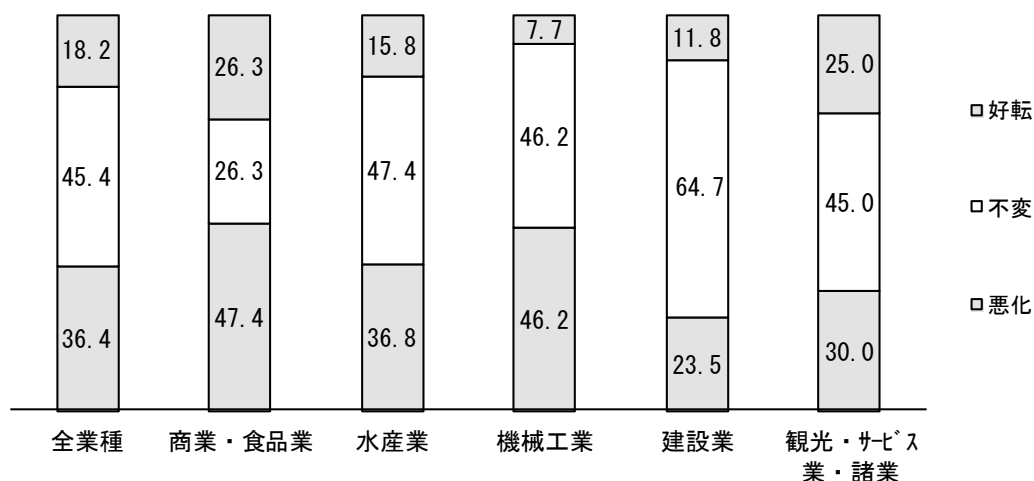
6月1日から5年振りとなるプレミアム付きの「もんべつ地域活性商品券」の販売が開始になるため、大きな悪化見込みの商業・食品業を始めとした各業種で消費活動が活発になる事に期待しています。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「材料等の仕入単価の上昇」「人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられており、原材料の減少等による仕入単価の上昇、消費税増税や燃料等価格高騰に対する不安を訴える声が多くなっています。

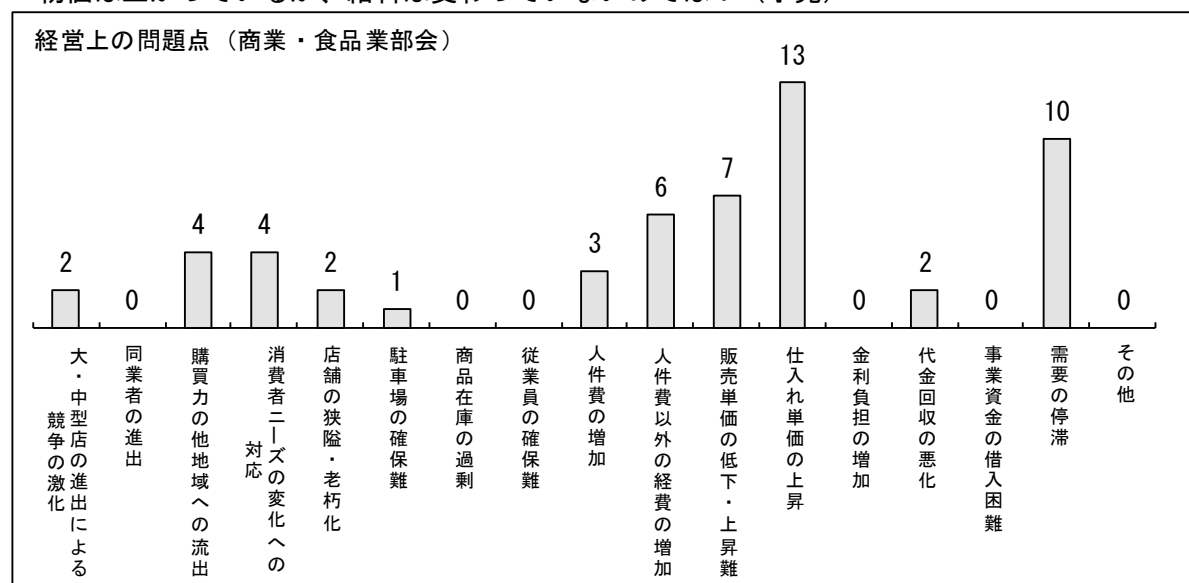
■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲21.1（前年DI値▲11.1、来期見通し▲42.1）〕

業況DI値（前年同期比）は、昨年よりも更に悪化と依然として厳しい状況で推移しています。次期見通しも、さらに悪化していくとの予想となっておりますが、「もんべつ地域活性化商品券」が6月1日より発売になることから、購買意欲が高まることに期待しています。経営上の問題点としては「仕入単価の上昇」「需要の停滞」を訴える声も依然として多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・仕入商品の値上がり等が4月からあり、店舗内商品への転嫁が難しい。（小売）
- ・客数減（小売）
- ・大型の工事（病院等）が終わり、流入人口が減少する。（小売）
- ・物価は上がっているが、給料は変わっていないのでは？（小売）

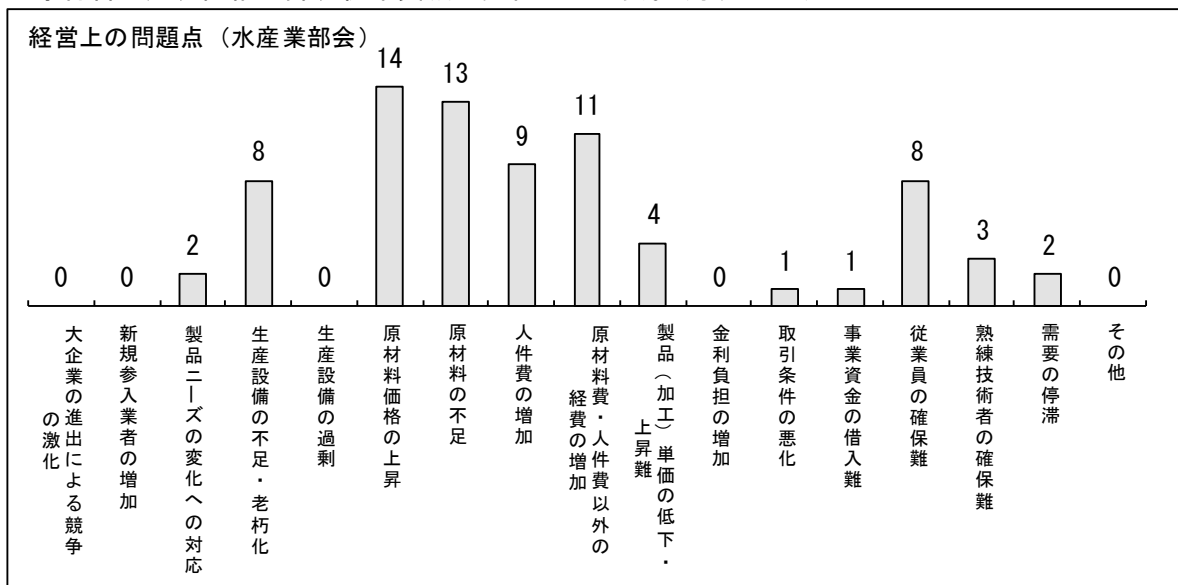


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲21.1（前年DI値▲31.6、来期見通し0.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は若干回復しております。しかし、依然として輸入のカニをはじめとした原料不足による全般的な魚価の上昇に伴い水産加工業者には、仕入れ値の上昇による収益の悪化や原料不足の状態になるなど問題は山積しています。経営上の問題点としては「原材料単価の上昇」「原材料の不足」となっています。来期の見通しとしては、海明けによる回復が見込まれるとの見方となっていますが、冬期間の低気圧の影響により、オホーツク沿岸の多くの漁場で主力であるホタテが大打撃を受け、「3年間はかなり厳しい状況が続く」という声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ 輸入のカニの状況が良くない為、苦戦して居ります。（水産加工）
- ・ 原材料不足、価格上昇、従業員減で先行きが不安。（水産加工）

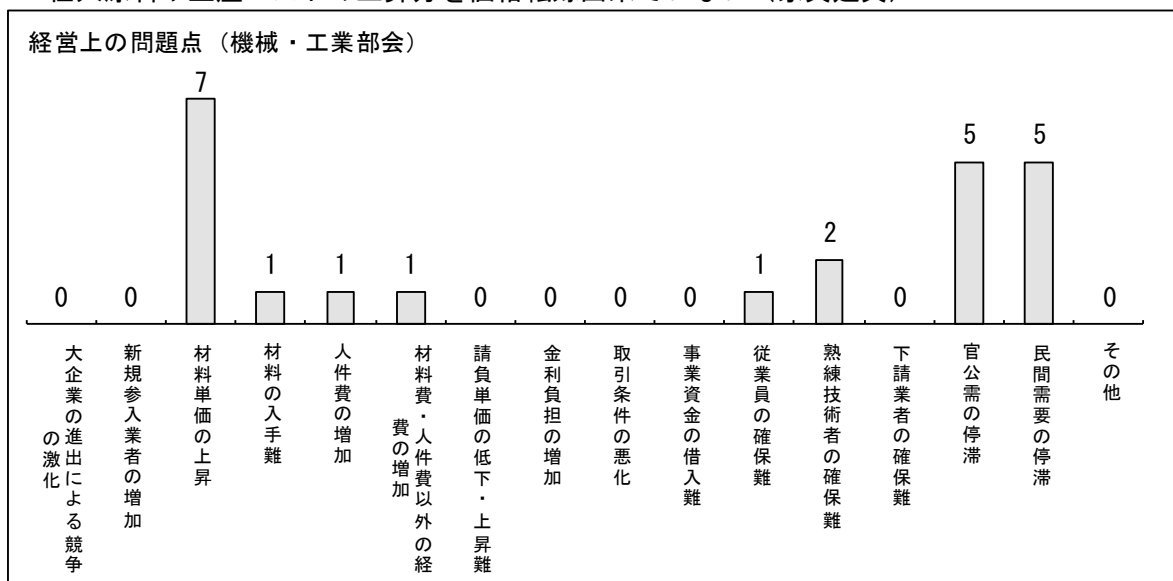


【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲38.5（前年DI値33.3、来期見通し0.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年比71.8ポイント減の大幅悪化となりました。公官庁、民間の需要の停滞により同業他社との競争も激化し、業況は厳しくなっているとの声も寄せられています。来期業況見通しは0.0と大きく改善する予想となっております。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「官公需要・民間需要の停滞」などを訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ 仕入原料や生産コストの上昇分を価格転嫁出来ていない（家具建具）

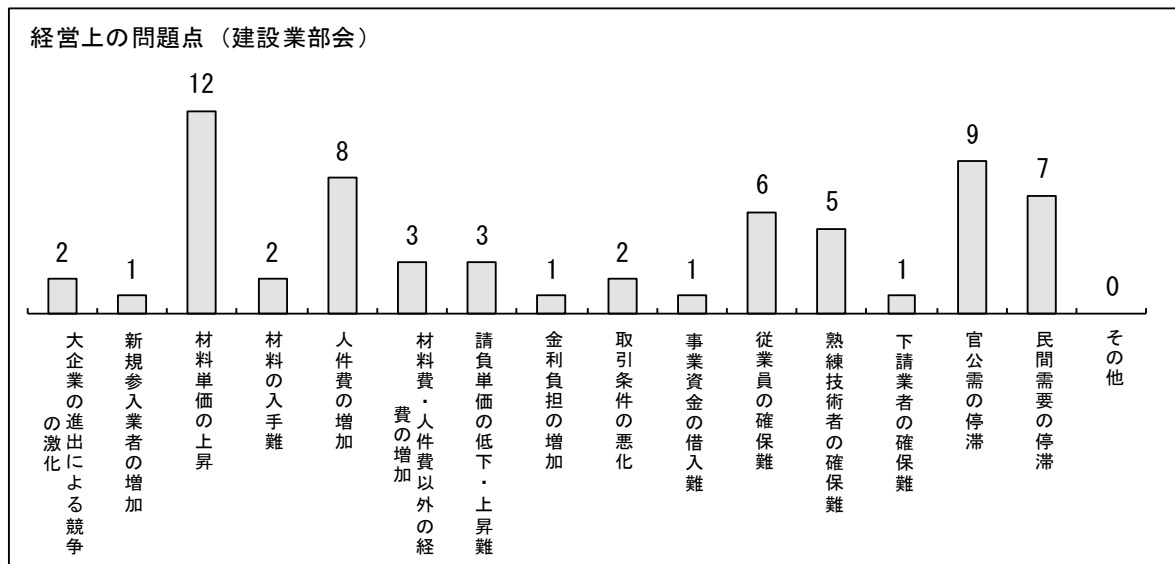


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲11.8（前年DI値35.3、来期見通し▲17.6）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年比47.1ポイント減の大幅悪化となりました。輸入材料や原料等の高騰により材料単価が上昇していることに加え、広域紋別病院の新築移転工事も終了し、多くの企業が大幅な悪化になったものと思われます。次期見通しは、今期よりもやや悪化するだろうとの見方が強くなっております。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「官公需の停滞」「民間需要の停滞」「人件費の増加」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・ 建築関係（大工）などは若い人がますます居ません。15年すると紋別に居なくなるのでは…とされています。もっと若い人に興味を持って貰いたいです。（管工事業）

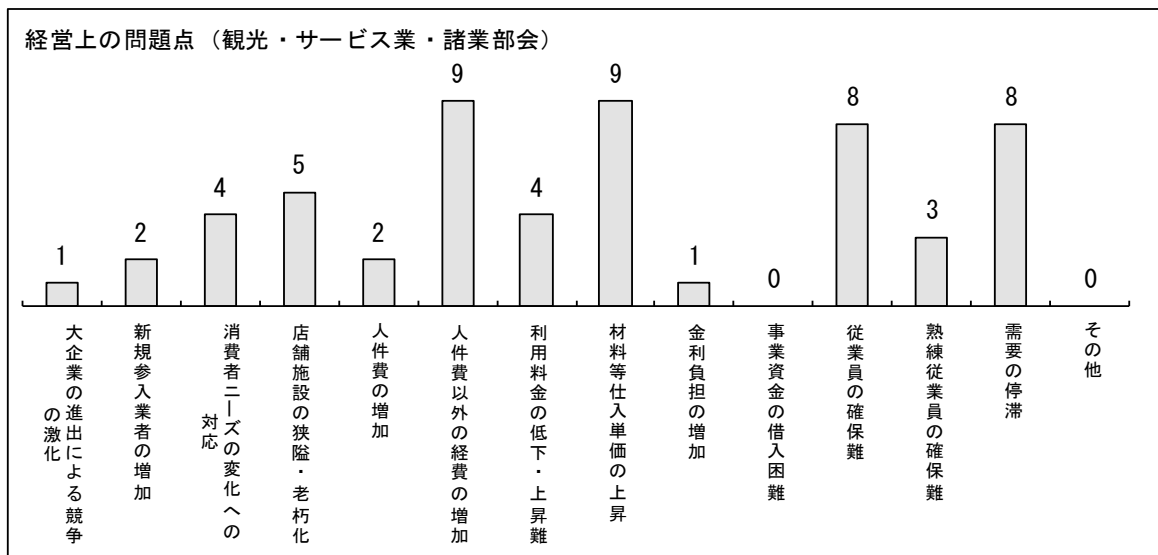


【観光・サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲5.0（前年DI値0.0、来期見通し▲25.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年よりも5ポイント減とやや悪化しています。冬観光シーズンに加え、春の異動に伴い、飲食業のみならず幅広い業種で「やや好転」との回答が多くなりました。しかし、依然として競合も多く厳しい状況を訴える声も多く寄せられております。経営上の問題点としては、「人件費以外の経費の増加」「材料等仕入単価の上昇」「需要の停滞」「従業員の確保難」などを心配する声が多くなっております。

《業界の問題点等》

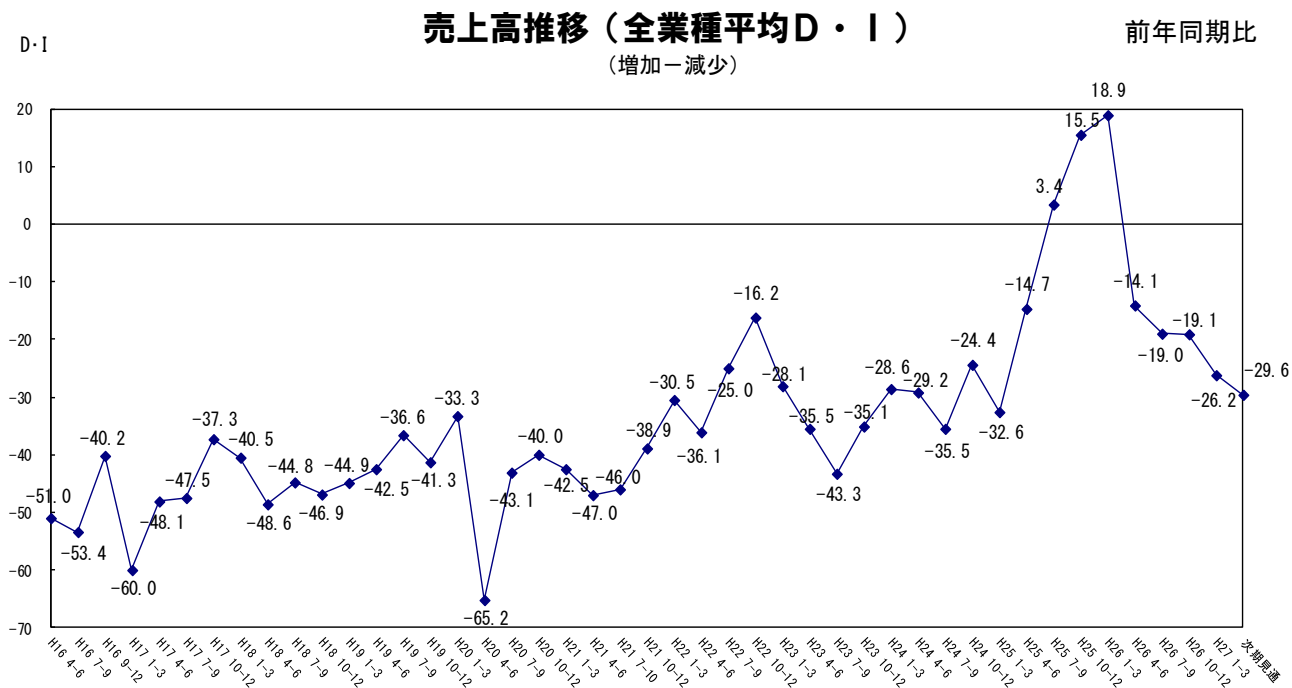
- ・ 人手不足。材料等の高騰！（飲食業）
- ・ 売上1,000万円を超えない店（会社）は消費税免除というのは不公平。（飲食業）
- ・ 欠員状態が続いていて、今後の店の運営に不安です。（飲食業）
- ・ 競争の激化が顕著！（保険代理店）
- ・ 平成27年度の介護保険法改正で、介護報酬が大幅ダウンし、経営環境が益々厳しくなっている。また、介護職員の確保が出来ない状況になっている。（介護）
- ・ 人口減少（不動産）



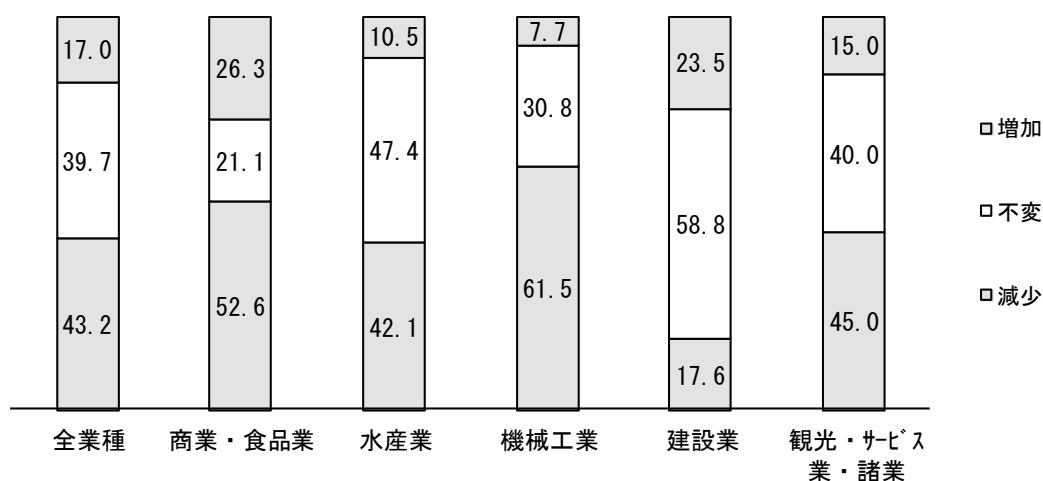
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成26年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



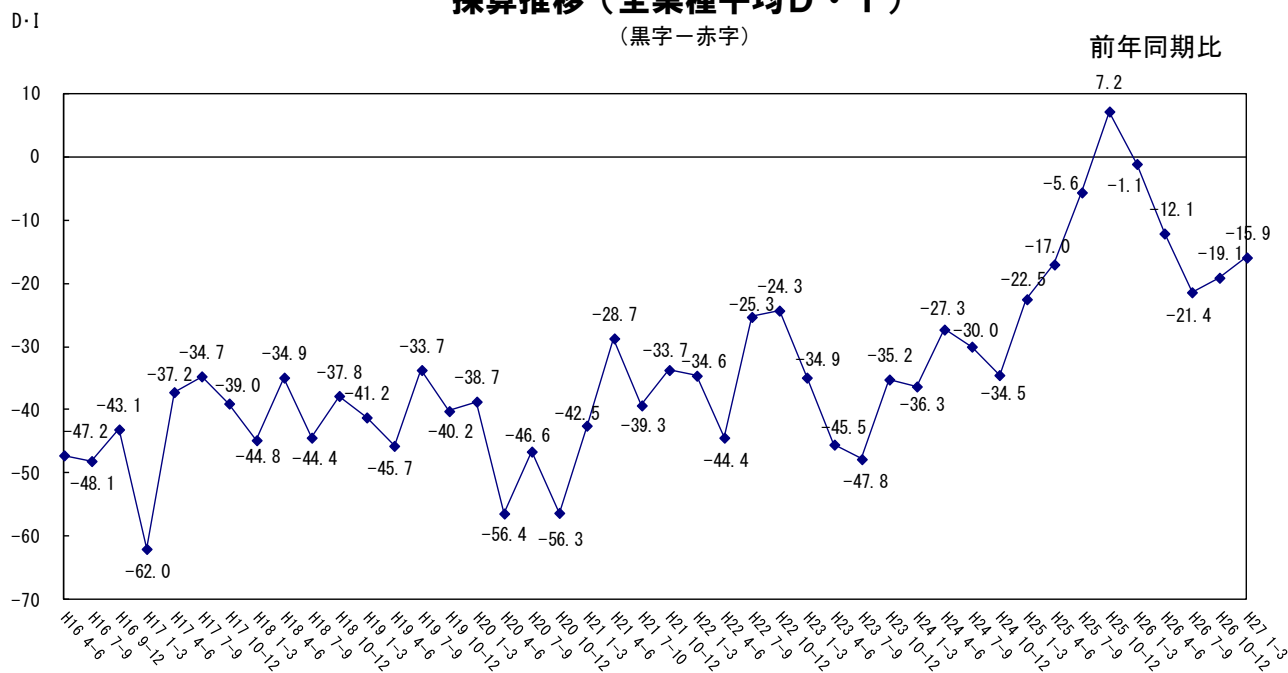
全業種平均でDI値▲26.2〔前回調査時（平成26年10～12月期▲19.1）より7.1ポイント悪化〕 全業種で大幅な悪化。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年27.8→▲26.3〕、水産業〔前年▲21.1→▲31.6〕
 機械工業〔前年33.3→▲53.8〕、建設業〔前年41.2→5.9〕
 観光・サービス業・諸業〔前年16.7→▲30.0〕

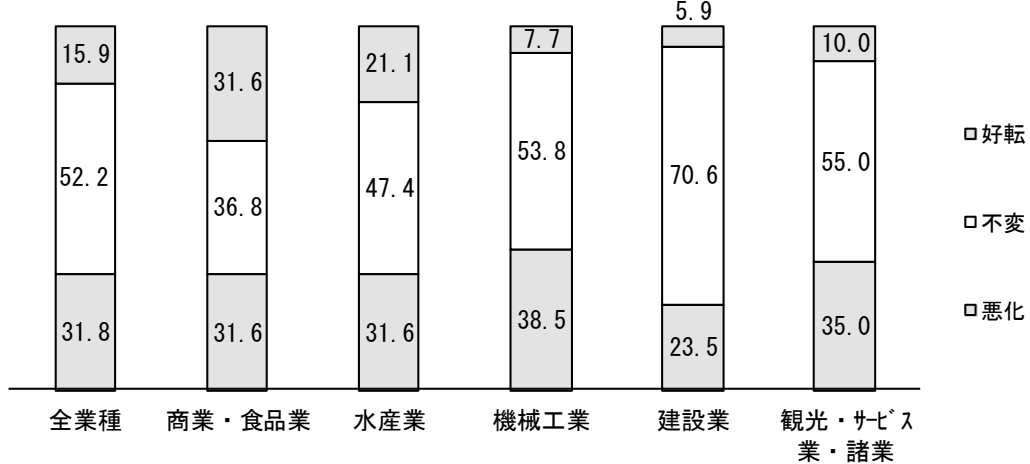
(2) 今期の採算

【前年同期比】（平成26年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）



今期の採算（前年同期比）



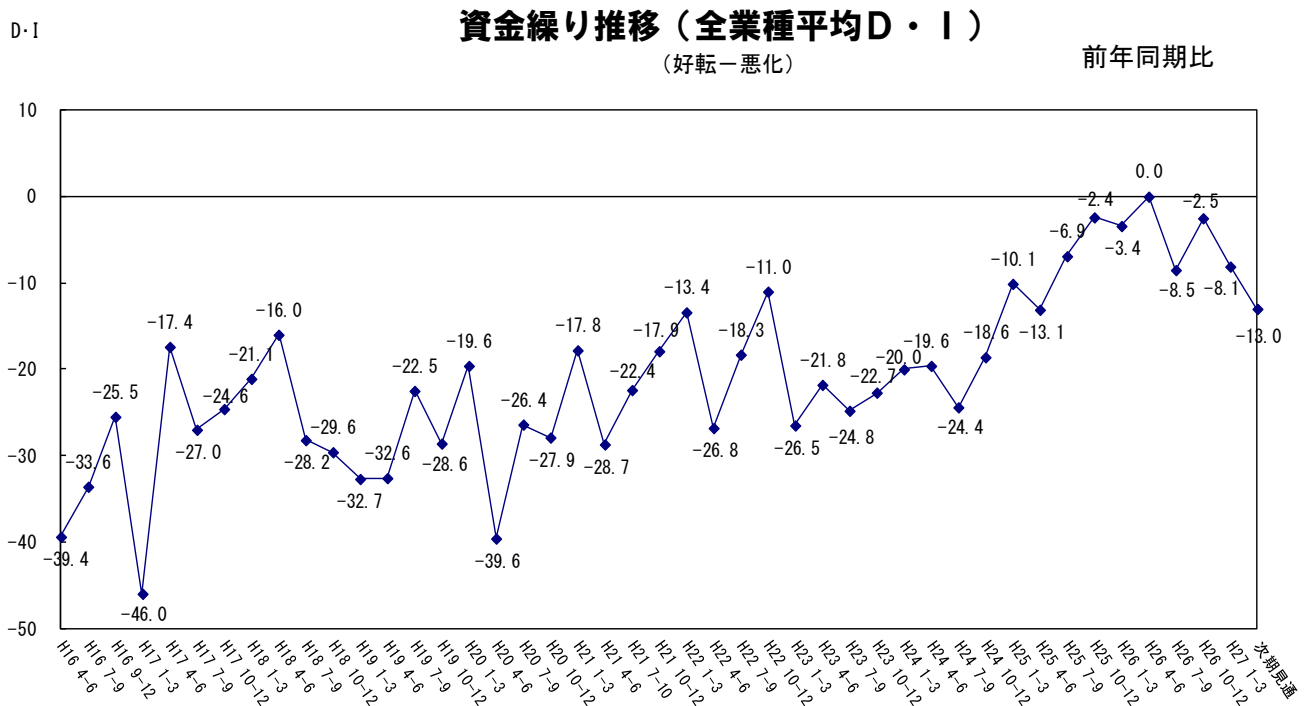
全業種平均でDI値▲15.9〔前回調査時（平成26年10～12月期▲19.1）より3.2ポイント改善〕

商業・食品業、水産業は回復したが、機械工業、建設業が大幅な悪化。

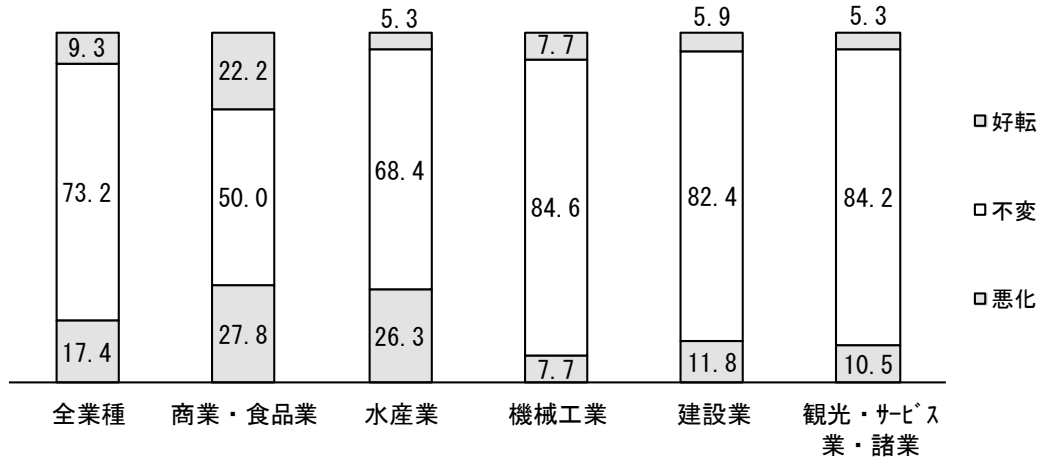
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲5.6→0.0〕、水産業〔前年▲26.3→▲10.5〕
 機械工業〔前年22.2→▲30.8〕、建設業〔前年11.8→▲17.6〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲5.6→▲25.0〕

(3) 今期の資金繰り

〔前年同期比〕（平成26年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



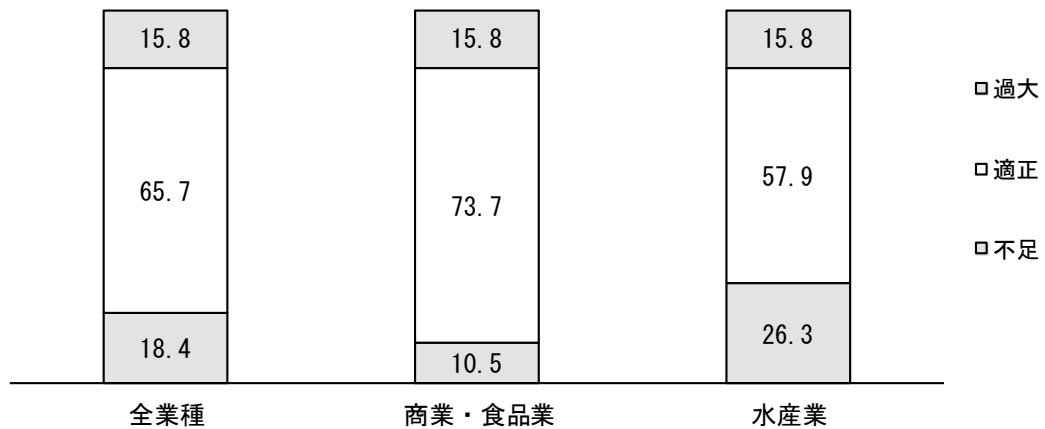
全業種平均でDI値▲8.1〔前回調査時（平成26年10～12月期▲2.5）より5.6ポイント悪化〕
水産業、機械工業が悪化。観光サービス業・諸業は改善。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲5.6→▲5.6〕、水産業〔前年▲10.5→▲21.1〕
機械工業〔前年22.2→0.0〕、建設業〔前年▲5.9→▲5.9〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲18.8→▲5.3〕

(4) 今期の在庫水準

〔前年同期比〕（平成26年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）

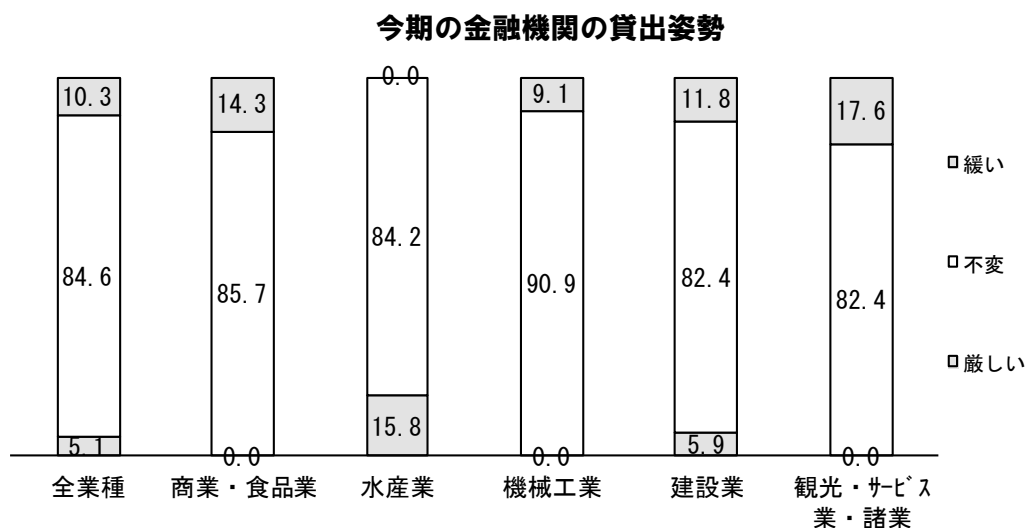


全業種平均でDI値▲2.6〔前回調査時（平成26年10～12月期▲16.2）より13.6ポイント在庫増加〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲5.6→5.3〕、水産業〔前年▲26.3→▲10.5〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

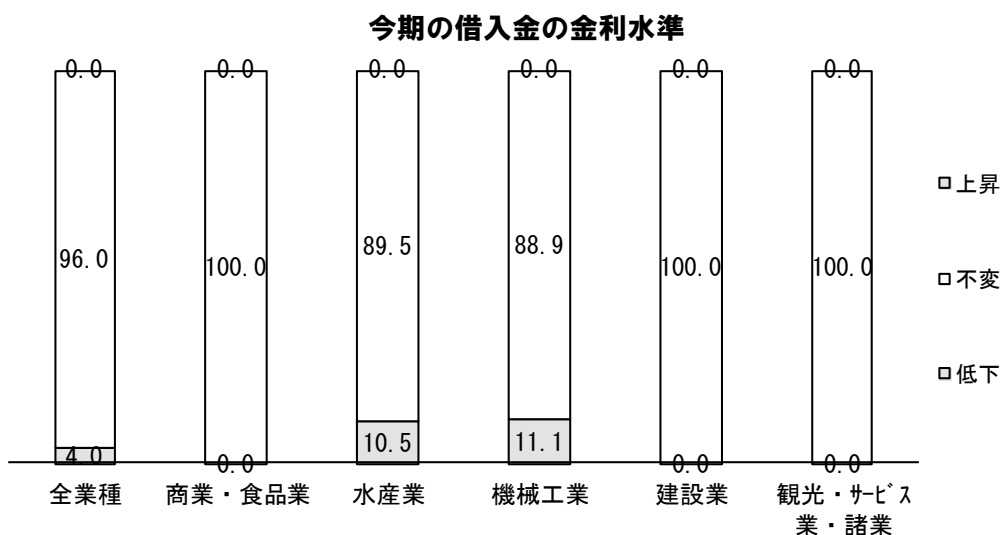
【前年同期比】（平成 26 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均で **5.2** ポイント。商業食品業 **14.3**、水産業 **▲15.8**、機械工業 **9.1**、建設業 **5.9**、観光・サービス業・諸業 **17.6**

(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 26 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

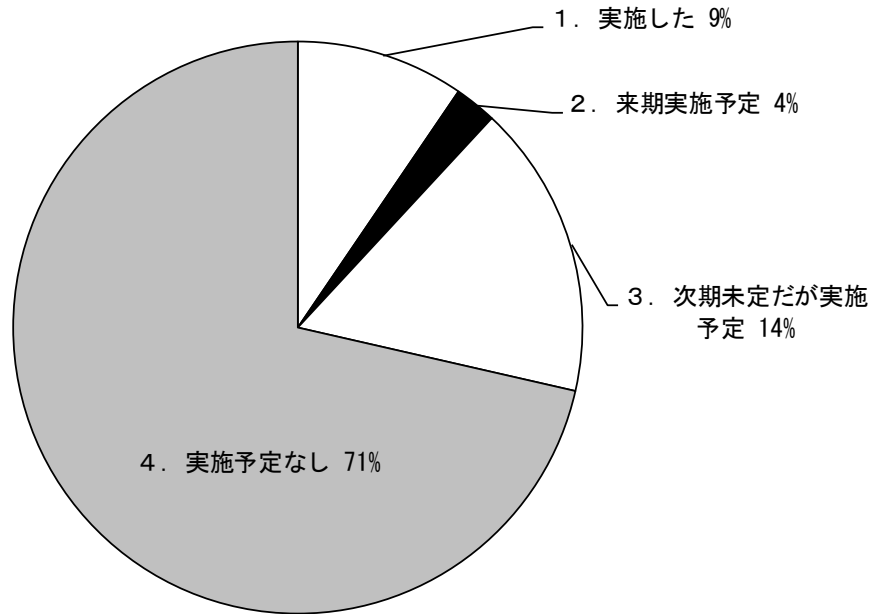


全業種平均で **▲4.0**。商業食品業 **0.0**、水産業 **▲10.5**、機械工業 **▲11.1**、建設業 **0.0**、観光・サービス業・諸業 **0.0**

(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

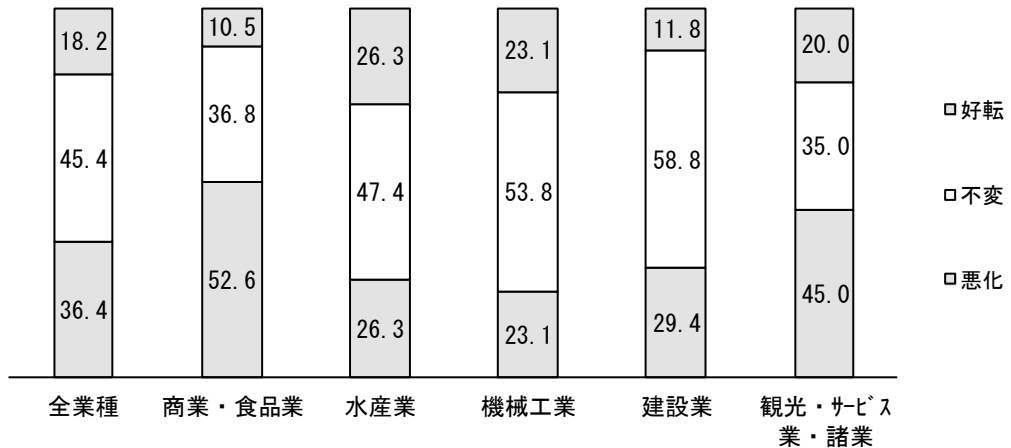


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成27年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

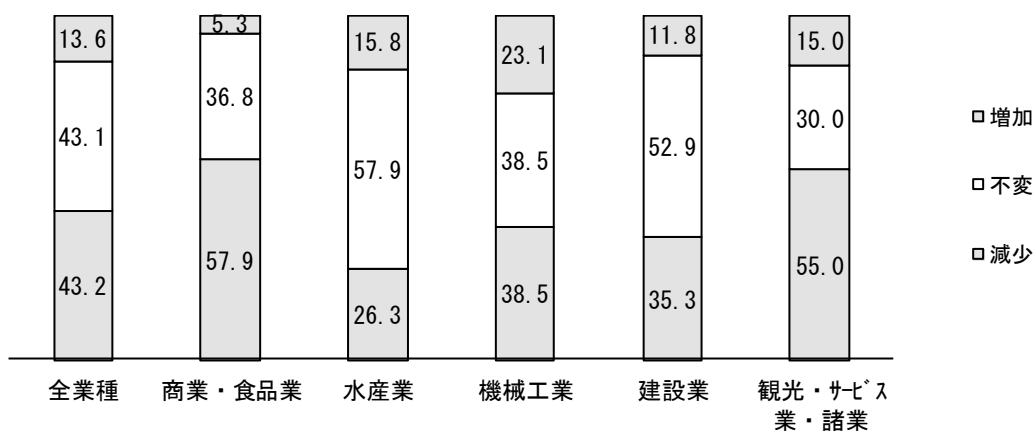


全業種平均 DI 値▲18.2 [今期の業況（前年同期比▲18.2）と同ポイントと横ばい見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 27 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

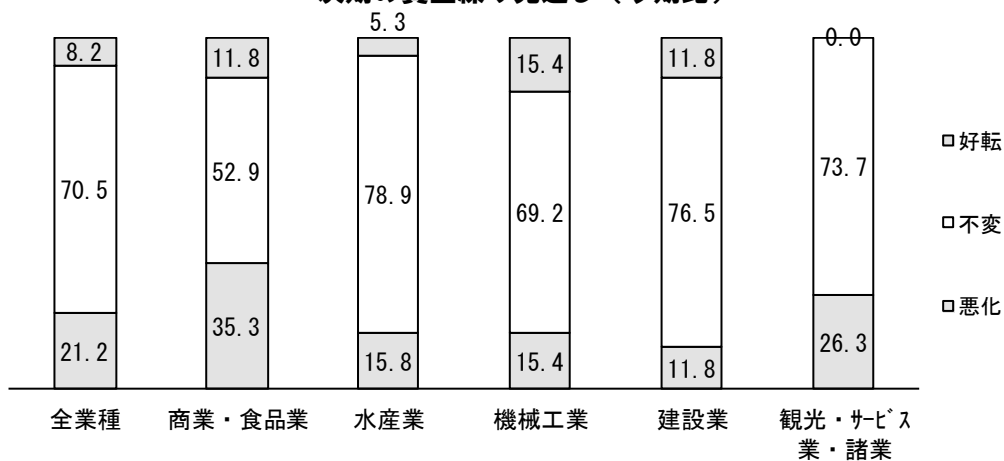


全業種平均 DI 値 ▲29.6 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲26.2）より 3.4 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 27 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 ▲13.0 [今期の資金繰り（前年同期比▲8.1）より 4.9 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

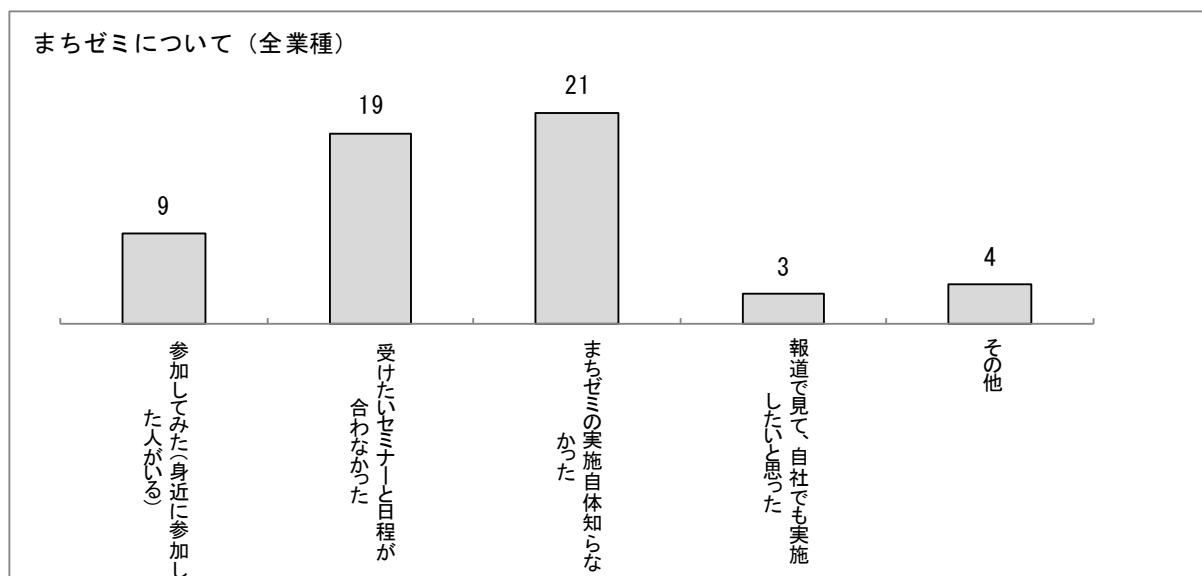
		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲18.2	▲21.1	▲21.1	▲38.5	▲11.8	▲5.0
	来期見通し	▲18.2	▲42.1	0.0	0.0	▲17.6	▲25.0
売上 D・I	今期実績	▲26.2	▲26.3	▲31.6	▲53.8	5.9	▲30.0
	来期見通し	▲29.6	▲52.6	▲10.5	▲15.4	▲23.5	▲40.0
在庫 D・I	今期実績	▲2.6	5.3	▲10.5	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	▲15.9	0.0	▲10.5	▲30.8	▲17.6	▲25.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲8.1	▲5.6	▲21.1	0.0	▲5.9	▲5.3
	来期見通し	▲13.0	▲23.5	▲10.5	0.0	0.0	▲26.3
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	5.2	14.3	▲15.8	9.1	5.9	17.6
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲4.0	0.0	▲10.5	▲11.1	0.0	0.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。

IV. まちゼミについての調査

昨年、商店街に人を呼び込む取り組みとして、各商店の店主やスタッフが講師となり、専門知識やテクニックを伝授する無料セミナー『まちゼミ』を市内商店街の若手らで組織する「まちおこし塾」（宮川法親会長）が初開催し、多くの方が参加され、盛況の内に終了し、本年度も実施が予定（時期未定）されております。

今回の調査で、まちゼミの「実施自体を知らなかった」と回答される方が多い結果となりましたが、ほぼ同数で「受けたいセミナーと日程が合わなかった」という回答も多く、関心の高い取り組みであり、多くの方に商店街へ足を運んで頂ける機会となることから、当所としましても市内の若手らの活躍を後押し出来る様、周知等にも協力をしていきたいと考えております。



- ・介護現場の体験
- ・夜、ゼミをやってくれれば参加しやすい人もあると思う。